



Latex 600 と Scitex LX プリンタ ファミリ

サイト準備ガイド

法律に関する注記

ここに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

HP 製品およびサービスの保証は、該当する製品およびサービスに付属する明示された保証書の記載内容に限られるものとします。本書中のいかなる記載も、付加的な保証を構成するものとして解釈されないものとします。弊社は、本書に含まれる技術上または編集上の誤りおよび欠落について、一切責任を負うものではありません。

目次

1	はじめに	1
	システムの設定	1
	マニュアル	1
	サイト準備の概要	1
	カスタマーの責務	2
2	サイト準備	4
	プリンタ設置のための計画	4
	設置スケジュール	4
	システム操作の要件	5
	エア サプライ要件 (空気圧式スピンドル)	9
	部屋と空間の要件	9
	プリンタの運用場所の設計	12
	コンピュータとネットワークの要件	14
3	入荷の準備	17
	荷下ろし場所	17
	荷下ろし場所から設置場所までの経路	17
	入荷品	17
	設置に必要な用具と人員	18
	移動装置	18
	廃棄物の処理	22

1 はじめに

システムの設定

本プリンタはほとんど組み立てられた状態で、また『インストールガイド』に詳細が記載されている手順で簡単に設置できる状態で、配送されます。プリントヘッドおよびプリントヘッド クリーニング ロールが付属しています。

マニュアル

本プリンタには、以下のマニュアルが付属しており、<http://www.hp.com/go/LX600/manuals/>または<http://www.hp.com/go/LX800/manuals/>からもダウンロードできます。

- サイト準備ガイド
- サイト準備チェックリスト
- ユーザーズ ガイド
- メンテナンスおよびトラブルシューティング ガイド
- 法律情報

サイト準備の概要

このガイドでは、次の計画時の注意事項について説明します。

- 設置場所の変更
- サイトへのアクセスのしやすさ
- 非常出口
- プリンタの運用場所の計画
- 動作環境 (機械、電気を含む) の仕様
- コンピュータとネットワークの接続
- フォークリフトや適切な運送装置を使う専門運送業者との契約
- 電気技術者との契約

このガイドのすべての情報は、設置計画と実施の担当者が次の実行を理解していることを前提にしています。

- アーキテクチャ要件と計画要件
- 適用される法規、規定および標準

📖 **注記：** 重要なことは、このガイドに記載されている情報にすべて目を通し、設置と運用のすべての前提条件、安全手順、警告、注意、法令に完全に準拠することです。

カスタマーの責務

サイトとプリンタ環境の計画

サイトのすべての物理的な準備に対して責任があり、次のタスクを完了する必要があります。

- サイトで荷下ろしの準備をします。[17 ページの「荷下ろし場所」](#)を参照してください。
- 荷下ろし場所から設置サイトまでの通路が仕様を満たしていることを確認します。[17 ページの「荷下ろし場所から設置場所までの経路」](#)を参照してください。
- プリンタの移動に必要な装置を準備し、このガイドに記載された情報とサイトについて把握している専門運送業者を確認します。[18 ページの「移動装置」](#)を参照してください。
- 2 階以上への設置要件を満たします (必要な場合)。[20 ページの「2 階以上での設置」](#)を参照してください。
- プリンタに電源を供給するために使用する建造物の電気システムを、プリンタの要件およびプリンタを設置する国の地域管轄の電気工事規定要件を満たすように設定します。認定電気技術者が、設置日にプリンタの電源を投入する必要があります。[5 ページの「電気の設定」](#)を参照してください。
- 適切なエア サプライ (空気圧式スピンドル) を用意します。[9 ページの「エア サプライ要件 \(空気圧式スピンドル\)」](#)を参照してください。
- 温度と湿度の要件を満たし、プリンタの適切な換気を確保します。[10 ページの「換気と空気調整」](#)および[9 ページの「温度と湿度」](#)を参照してください。
- 必須のすべての緊急装置を設置します。[12 ページの「設置の安全性」](#)を参照してください。

RIP インストール

お使いのプリンタ用に HP RIP ソフトウェアを購入している場合:

- コンピュータで RIP をインストールできることを確認する必要があります。
- すべての機能を利用するために、コンピュータをインターネットに接続しておくことをお勧めします。
- プリンタ設置の契約日までに HP RIP ソフトウェアが届いていることを確認する必要があります。

お使いのプリンタ用に HP 製以外の RIP ソフトウェアを購入している場合:

📖 **注記：** このガイドにはユーザーの RIP ソリューションに関する情報は記載されていません。

- 適切なコンピュータに RIP をインストールし、それがプリンタ設置の契約日までに完全に機能することを確認する必要があります。
- すべての機能を利用するために、コンピュータをインターネットに接続しておくことをお勧めします。
- プリンタ設置の契約日までに、RIP 専任担当者およびネットワーク専任担当者が参加することを確認する必要があります。

ネットワーク

ネットワークのすべての要件に責任があり、次のタスクを完了する必要があります。

注記： リモートからサポートするために、LAN 接続でプリンタがインターネットにアクセスできることが必要です。

- 設置日に向けて、要件を満たしたネットワークを整備しておきます。[14 ページの「コンピュータとネットワークの要件」](#)を参照してください。
- 設置日にプリンタを LAN に接続するために CAT-6 LAN ケーブルを用意します。

テストおよびトレーニングのためのプリンタサプライ品

次のプリンタ サプライ品を用意しておく必要があります。

- 各カラーについて 1 つ、合わせて 6 つのインクカートリッジ (プリンタにカートリッジは付属しません)

注記： さらに、交換が必要になったときのために常に、6 つのインクカートリッジ、3 つのプリントヘッド、および 1 つのメンテナンスキットから成る予備のセットをもう一組用意しておくことをお勧めします。

- 空気圧式スピンドル用の圧縮エア サプライ。[9 ページの「空気圧供給」](#)を参照してください。
- 印刷用に、いくつかの素材のロール。できれば将来に使用する可能性が最も高い素材の種類。
- インク コレクター キット (LX800 のみ) をテストするための柔軟性のある素材のロール (ライナーのないメッシュまたは薄いテキスタイル)
- デュアルロール紙の印刷 (LX800、またはデュアルロールキットを含む LX600) をテストするための次のような同じ幅の 2 つのロール。
 - LX600:各ロールの最大幅 1245mm(49 インチ)
 - LX800:各ロールの最大幅 1524mm(60 インチ)

『サイト準備チェックリスト』の返送

チェックリストを完了して、販売代理店やサービス担当者に設置日の 2 週間前までに返送する必要があります。

注記： サイトでの準備不足のために設置に遅れが発生した場合は、カスタマーに追加料金が発生します。設置が円滑にできるように、サイトの準備を適切に行ってください。

使い捨てインク バッグとメンテナンス キット (プリントヘッド クリーニング ロールとエアゾール フィルタ) のリサイクル

これらの物品は、地域の規則に従って廃棄する必要があります。詳細については、プリンタのインクに関する MSDS ドキュメントを参照してください。このドキュメントは、<http://www.hp.com/> から入手できます。

プリントヘッドのリサイクル

プリントヘッドは、地域の規則に従って廃棄する必要があります。詳細については、プリンタのインクに関する MSDS ドキュメントを参照してください。このドキュメントは、<http://www.hp.com/> から入手できます。HP は、HP Planet Partners Returns の対象となっている一部の国でリサイクル プログラムを提供しています。このプログラムの詳細については、<http://www.hp.com/recycle/> をご覧ください。

2 サイト準備

プリンタ設置のための計画

この章では、効率的な計画とサイトの準備に関する主なトピックについて説明します。関連する地域自治体に対する計画の申請や承認に必要な時間と必要な改築工事を考慮します。装置を設置する前に、出荷クレーンを一時的に安全に保管することも必要です。

- △ **注意：** 本プリンタに接続されたすべてのケーブルは適切な配線スペースに収める必要があります。これらは状況に応じて天井の場合も床下の場合もあります。束ねていないケーブル類につまづくと、けがをしたり装置が損傷することがあります。

設置スケジュール

問題なく円滑に設置を確実に行う最良の方法は、適切にサイトの準備を行うことです。次のスケジュールの見積もりの前提条件は、すべてのシステム コンポーネントが正しい作業順序で搬送されていること、およびこのガイドに記載されている仕様どおりに、すべてのサイト準備と計画の要件が満たされ、完了していることです。設置プロセスには次の 2 つがあります。

表 2-1 設置スケジュール

	完了までに要する時間 (LX600)	完了までに要する時間 (LX800)
設置とシステムの設定	1 日 (全営業時間)	1.5 日 (全営業時間)
操作と保守のトレーニング	2 日 (全営業時間)	2.5 日 (全営業時間)

最適な時間スケジュールでは約 3 ~ 4 日必要ですが、「設置とシステムの設定」や「操作と保守のトレーニング」で時間の延長が必要な場合もあります。設置プロセス中に発生する可能性がある特別な状況に対して事前に計画を立ててください。設置やトレーニング中に運用の計画を立てないでください。

HP から RIP ソフトウェアを購入した場合、RIP の通常使用に対応するトレーニングが行われます。RIP の使用に関する次の要素について取り上げます。

HP Scitex Onyx RIP

- キュー マネージャ
- プリンタの設定 (Quickset、デバイス出力、メディア、ページ サイズ、プロパティ)
- 事前準備の主要項目 (プリンタおよびメディアの選択、プレビューおよびサイズ、分割セットアップ、カラー補正、印刷)

メディア マネージャについては取り上げません。

HP Scitex Caldera RIP

- サーバ管理 (サーバ、構成、接続)
- GrandRip+ (メイン、ツール、設定)
- スプーラ
- イメージ作業ディレクトリ (ページのイメージの位置決めおよびスケール設定など)

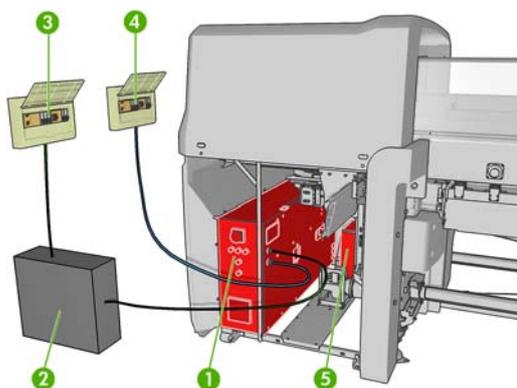
プロファイル作成については取り上げません。

システム操作の要件

電気の設定

注記： プリンタに電源を供給するために使用する建造物の電気システムのセットアップや設定およびプリンタの設置に電気技術者がが必要です。電気技術者が地域の法規に応じた適切な資格を保有していること、および電気の設定に関するすべての情報が入手されていることを確認します。

本プリンタを設置するには、プリンタを設置する国の地域管轄の電気工事規定に従って、カスタマーが次の電気コンポーネントを用意して設置する必要があります。



1. プリンタの電気キャビネット
2. 単相電源用の UPS (Uninterruptible Power Supply: 無停電電源装置) (推奨)
3. 単相分岐ブレーカーを含む PDU (Power Distribution Unit: 電力分配装置)
4. 三相分岐ブレーカーを含む PDU (Power Distribution Unit: 電力分配装置)
5. HP Internal Print Server コンピュータ

注記： 本プリンタの電气的な設置に関連する地域自治体の法規、規定および標準に従っていることを必ず確認します。

注記： LX600 プリンタには、電気キャビネット内で既に接続されていて、反対側にはコネクタのない 5m(16 フィート)三相のケーブルが付属しています。LX800 には、三相ケーブルは付属していません。

PDU (Power distribution unit: 電力分配器)

注記： PDU は、プリンタの電力要件を満たすことが認定されている必要があります、プリンタを設置する国の地域管轄の電気工事規定に従っている必要があります。

乾燥および硬化用コンポーネントには三相電源が使用されており、建造物の PDU が必要です。

PDU はプリンタの要件を満たす必要があります。

プリンタの三相電源仕様

プリンタ用の三相電源の電気仕様を次の表に示します (高電圧と低電圧の場合)。ユーザーのサイトに
応じて、高電圧や低電圧電源のプリンタの電気仕様を使用します。

表 2-2 LX600 三相電源仕様

	高電圧系統	低電圧系統
入力電圧 (ライン間)	3 × 380-415 V~ (-10%+6%)	3 × 200-220 V~ (±10%)
入力周波数	50Hz	60Hz ¹
消費電力	12kW	12kW
最大負荷電流 (1 相あたり)	32A	32A

表 2-3 LX800 三相電源仕様

	高電圧系統	低電圧系統
入力電圧 (ライン間)	3 × 380-415 V~ (-10%+6%)	3 × 200-220 V~ (±10%)
入力周波数	50Hz	60Hz ¹
消費電力	1.5kW	1.5kW
最大負荷電流 (1 相あたり)	30A	50A

¹ 日本の入力周波数は 50Hz または 60Hz です。

△ **注意：** 入力電圧がプリンタの定格電圧の範囲内であることを確認してください。

プリンタには三相電源が必要です。三相電源は、オフィスや家庭で一般的である単相電源よりも大規模電気負荷を供給するさらに効率的な方法です。単相電源のみで設備に電源を供給する場合は、建造物の単相電源を三相電源に変換するコンバーターを購入し、プリンタの設置日より前に認定電気技術者によりコンバーターを設置します。コンバーターの出力仕様が上記の表 (三相電源の仕様) にある本プリンタの要件を満たしていることを確認します。

プリンタの単相電源仕様

プリンタ用の単相電源の電気仕様を次の表に示します (高電圧と低電圧の場合)。ユーザーのサイトに
応じて、高電圧や低電圧電源のプリンタの電気仕様を使用します。

表 2-4 プリンタの単相電源仕様

	高電圧系統	低電圧系統
入力電圧 (ラインとニュートラル間)	200-240 V~ (-10%+6%)	115-127 V~ (±10%) (日本 200 V~)
入力周波数	50Hz	60Hz ¹
消費電力	1kW	1kW
最大負荷電流 (1 相あたり)	10A	10A

¹ 日本の入力周波数は 50Hz または 60Hz です。

単相電源用の UPS (オプション)

☞ **注記：** UPS はプリンタの電力要件を満たすことを認定されている必要があり、設置する国の配線標準に従っている必要があります。

エレクトロニクス制御コンポーネントおよび HP Internal Print Server には、UPS が使用可能な単相電源が使用されています。UPS の使用を強くお勧めします。

ブレーカー (必須)

☞ **注記：** ブレーカーは、プリンタの要件を満たしている必要があり、プリンタを設置する国の地域管轄の電気工事規定に従っている必要があります。

LX600 プリンタには分岐ブレーカーが 2 個必要です。1 基は単相電源用、もう 1 基は三相電源用です。

表 2-5 LX600 ブレーカーの仕様

分岐ブレーカー	
三相	3 極、40A
単相	2 極、16/20 A

LX800 プリンタには分岐ブレーカーが 2 個必要です。1 基は単相電源用、もう 1 基は三相電源用です。

表 2-6 LX800 三相ブレーカーの仕様

	高電圧系統	低電圧系統
入力電圧 (ライン間)	3 × 380-415 V~ (-10%+6%)	3 × 200-220 V~ (±10%)
入力周波数	50Hz	60Hz
三相分岐ブレーカー	3 極、40A	3 極、63A

表 2-7 LX800 単相ブレーカーの仕様

	高電圧系統	低電圧系統
入力電圧 (ライン間)	200-240 V~ (-10%+6%)	115-127 V~ (±10%) (日本 200 V~)
入力周波数	50Hz	60Hz
単相分岐ブレーカー	2 極、16/20 A	2 極、16/20 A

△ **警告！** プリンタの内蔵三相ブレーカーまたは漏電遮断器が製品筐体に漏洩電流が流れる場合に作動することを確認します。絶縁変圧器などの絶縁装置がプリンタへの電源供給に使用されている場合でも必要です。

警告！ 主要な地絡電流に対してプリンタに内蔵されている補助ブレーカー (10kA 定格遮断容量) が適切に動作することを確認します。

電源ケーブル (LX600)

LX600 プリンタに 2 本の電源ケーブル (5m(16 フィート)) が付属しています。ケーブルが PDU や UPS に届かない場合は、認定電気技術者が設置日に適切な延長ケーブルを取り付ける必要があります。これらのケーブルは次の最小仕様を満たす必要があります。

表 2-8 ケーブルの仕様

	三相電源	単相電源
設定	4 線、L1/L2/L3/PE	3 線、L/N/PE
ケーブル	伸銅、AWG8、10mm ²	伸銅、AWG12、4mm ²

電源ケーブル (LX800)

LX800 プリンタには、三相電源ケーブルは付属していません。使用するケーブルは、次の最小仕様を満たす必要があります。

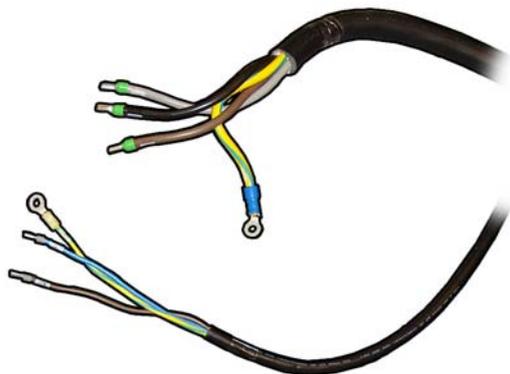


表 2-9 ケーブルの仕様

	三相電源	単相電源
設定	4 線、L1/L2/L3/PE	3 線、L/N/PE
ケーブル	伸銅、AWG6、13mm ²	伸銅、AWG12、4mm ²
最大外径	30mm(1.18 インチ)	-

M6 スタブを通じて、PE 接続を確立する必要があります。

電源ケーブルは上部のカバーの右上から、または天井から接続できます。

電力線の妨害

本プリンタ操作の信頼性は、比較的ノイズが少ない AC 電源が利用できるかどうかで決まります。

- 最適なパフォーマンスと信頼性を実現するには、本プリンタを入力電圧の変動から保護する必要があります。これはプリンタの運用環境では一般的です。工場環境にあるマシンで一般的に見られる電力スイッチング、点灯、回線異常により、適用電圧のピーク値を大幅に超える入力変動が発生することがあります。低減しない場合、これらのマイクロ秒のパルスによりシステムの操作が妨げられことがあります。
- 設置サイトに供給される電源が他の使用者と共有している公共の低電圧電源である場合は、ヨーロッパの規制に従う場合、50Hz での電源インピーダンスが LX600 で 52mΩ 未満、LX800 で 34mΩ 未満であることが必要です。同じ電源につながっている他の使用者から白熱電球の明滅が報告される場合は、電気供給事業者に連絡し、電源系統で前に指定した値未満のインピーダンスであることを検証します。
- プリンタに接続する電源に OVP (過電圧保護) と過渡保護装置を取り付けることをお勧めします。
- ファン、蛍光灯、空気調整システムなどの電子ノイズを発生するすべての装置は、本プリンタに使用する電源装置から離して設置する必要があります。
- 加熱と硬化ランプは三相 AC 電源から電力を供給します。プリンタの運用を最適にするには、三相システムで電圧変動の最大値が 3% 以下、および電圧降下が 5% 以下であることが必要です。最大変動がこの範囲に収まらない場合は、印刷品質およびプリンタの運用が影響を受ける場合があります。電気事業者に連絡して、電圧変動または電圧降下を改善してください。

場合によっては、15.8:10、16.8:10 など特定のシステム エラーを回避するために、三相電源で変動を 10V 以下(ライン間)に抑えることが推奨されます。

接地

電気上のリスクを回避するために、プリンタを質の良い、専用の接地線に接続する必要があります。設置する国での電気工事規定に準拠することはユーザーの責務であることに注意してください。

次の接地のタスクはサイト準備の要件を満たすために実行する必要があります。

- 接地線を絶縁します。少なくとも相導体と同じサイズのものを選択します。
- 接地インピーダンスは 0.5 Ω 未満であることが必要です。
- 専用のグラウンドに一点接地で取り付けます。
- 建造物のメイン サービス パネルと 3 本の連続相ケーブルと 1 本の連続銅接地線で接続された電源安定化装置。これらは同じ配線スペースに格納し、各相のケーブルと少なくともサイズが同じであることが必要です。

エア サプライ要件 (空気圧式スピンドル)

空気圧供給

空気圧式スピンドルには、エア コンプレッサ、または加圧送気管が必要です。これはカスタマーが準備する必要があります。

☞ **ヒント：** 圧力をバールで表示する圧力計の付いたエア コンプレッサの使用をお勧めします。

表 2-10 エア サプライ仕様

	仕様
空気圧	5.5 バール(80psi)(必須)
最小エアフロー	30 リットル/分(1.06 立方フィート/分)
給油 (不要)	推奨しません
エア フィルタ (推奨)	推奨：5.0 μm、自動排出、コアレスセンス効率 99.97%
レギュレータ (必須)	圧力計付きレギュレータ

空気コネクタ

プリンタには、エア サプライへの接続が必要なエア ガンが付属しています。エア サプライにエア ガンを接続するには、次の要件を満たしている必要があります。

- 6.35mm(0.25 インチ)メス コネクタ、BSP ネジまたは NPT ネジ
- 接続部分を固定して空気漏れを防ぐ PTFE 製テープ

部屋と空間の要件

温度と湿度

操作中と格納中の温度、湿度および温度勾配は、プリンタの正常な動作を保証するために標準範囲内に収める必要があります。環境条件を標準範囲内に収めないと、印字品質に問題が発生し、影響を受けやすい電子コンポーネントが損傷することがあります。

表 2-11 プリンタの動作環境の仕様

	温度範囲	湿度範囲	温度勾配
最高印刷品質での動作時	20 ~ 25°C ((68 ~ 77°F))	40 ~ 60% 相対湿度	10°C/h ((50°F/h)) 以下
標準印刷での動作時	15 ~ 30°C ((59 ~ 86°F))	20 ~ 70% 相対湿度	10°C/h ((50°F/h)) 以下
動作時以外 (輸送中または保管中)、チューブ内にインク有り	5 ~ 55°C ((41 ~ 131°F))	90%相対湿度、55°C (131°F)	10°C/h ((50°F/h)) 以下
動作時以外 (輸送中または保管中)、チューブ内にインク無し	-25 ~ 55°C ((13 ~ 131°F))	90%相対湿度、55°C (131°F)	10°C/h ((50°F/h)) 以下

最高動作高度 : 3000m(10000 フィート)

温度、湿度および温度勾配の制御の他に、サイト準備中に満たすことが必要な環境条件があります。

- 直射日光や強い光源に当たる場所にプリンタを設置しないでください。
- ほこりの多い環境にプリンタを設置しないでください。すべてのほこりを取り除いてからプリンタを設置場所に移動します。

換気と空気調整

すべての装置設置の場合と同様に、設置場所での周囲の快適性レベル、空調、または換気を維持する場合には、プリンタからの排熱を考慮する必要があります。特に、LX600 プリンタの電力損失は 12 KW (41 KBTU/h)であり、LX800 プリンタの電力損失は 15 KW(51 KBTU/h)です。

地域の EHS(Environmental, Health and Safety: 環境、衛生、および安全)のガイドラインおよび規定を満たす空調および換気が必要です。それぞれの設置場所での適切な測定に関するアドバイスについては、通常の空調または EHS の専任担当者の意見を求めてください。

適切な換気に関するより規定に密着したアプローチについては、ANSI/ASHRAE (American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers) 62.1-2007「*Ventilation for Acceptable Indoor Air Quality*」を参照してください。例として「コピー室、印刷室」では、2.5L/s.m²(0.5cfm/ft²)の新鮮な空気流の最小排気レートが指定されています。

☞ **注記：** 換気装置や空気調整装置の排気が直接プリンタにかからないようにしてください。

注記： プリンタを運用する部屋では、ほこりが部屋に入るのを避けるために、積極的にエアフローを維持することをお勧めします。

浸透性の素材を印刷する-目に見える蒸気

最適温度および相対湿度の条件下で、水性の HP ラテックス インクで印刷する場合、特に浸透性の素材で印刷する場合には、目に見える蒸気が生成される場合があります。

高い運用環境では、特に密閉した場所で浸透性の素材を使用して印刷する場合には、快適性レベルを維持し、凝縮を避けるために補助的に換気を行うことをお勧めします。

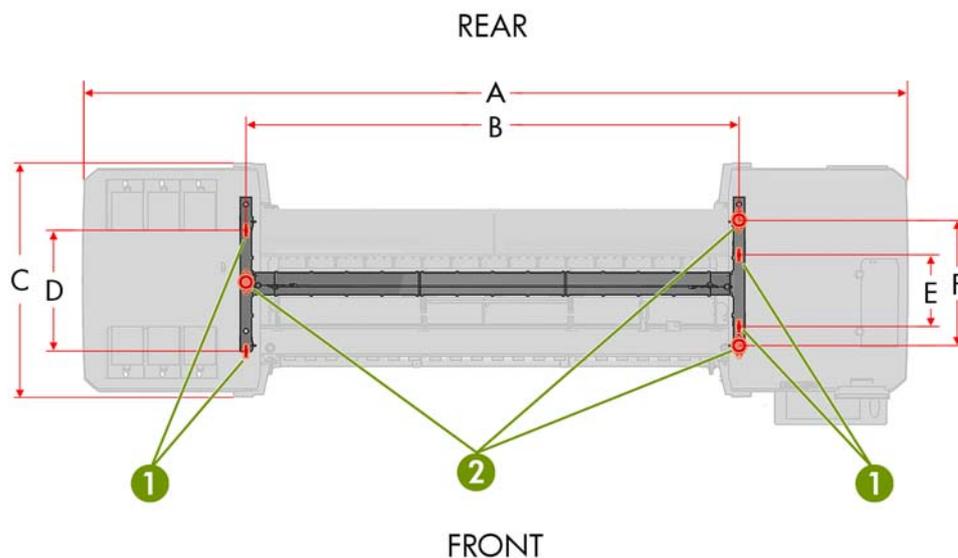
HP ラテックス インクの職業上の VOC 暴露に関する米国労働安全衛生局要件を満たすために、特別な換気装置は必要ありません。特別な換気装置の設置については、お客様の自己判断で行ってください。HP からの特別な推奨事項はありません。州および地域の要件および規制を確認してください。

荷重

プリンタの運用場所があるフロアの耐荷重特性が本プリンタの重量に十分耐えられることが必要です。プリンタの運用フロアの耐荷重特性を計算するには、建築技術者に確認する必要があります。

	LX600	LX800
プリンタ重量 (素材なし)	981kg(2163 ポンド)	1100kg(2425 ポンド)
各脚部の荷重	327kg(721 ポンド)	367kg(809 ポンド)

本プリンタには移動するための4つのキャスターが付いており、プリンタを支えるため3本の脚部は接地するように下げる必要があります。次の図では、脚部とキャスターが床に接触する場所を示し、場合により追加の強化材が必要です。



以下の表で、左側の列の番号または文字が上記の図に対応します。

	LX600	LX800
1	キャスター	キャスター
2	脚部	脚部
A	5.159m(203.11 インチ)	5.718m(225.11 インチ)
B	3.091m(121.69 インチ)	3.650m(143.69 インチ)
C	1.485m(58.46 インチ)	1.485m(58.46 インチ)
D	762mm(30 インチ)	762mm(30 インチ)
E	451mm(17.75 インチ)	451mm(17.75 インチ)
F	782mm(30.79 インチ)	782mm(30.79 インチ)

フロアの表面

フロアの表面には次の特性が必要です。

- 強固で、滑らかで、水平であること
- 穴やくぼみがないこと
- 静電気が起きない表面であること (カーペットなし)
- 清掃が簡単であること

- 耐久性があること
- 強い振動が起きないこと

照明

本プリンタが運用中である場合は常に、プリンタの運用場所には、オペレータが最適な条件でプリンタ運用中に色や位置調整を確認するための適切な照明が必要です。自然光が十分ではない場合は、人工の照明が必要です。

プリンタの運用場所の設計

設置の安全性

消火用装置

サイトに 2 本の消火器が必要です。火災の場合に備えて手近な場所に消火器を必ず配置します。

- 電気火災用に認定された消火器がプリンタの運用場所に必要です。
- 消火器は素材保管場所に設置する必要があります。大量の可燃物 (素材) が存在するためです。

非常出口と応急処置施設も考慮する必要があります。

最適な部屋のレイアウト

本プリンタでは、次のタスクを実行するために十分なスペースが必要です。

- 印刷
- HP Internal Print Server の使用
- 素材ロールの交換
- プリンタのサービスやプリンタ コンポーネントの交換
- プリンタの適切な換気の確保

プリンタの寸法は以下のとおりです。

表 2-12 LX600 物理的仕様

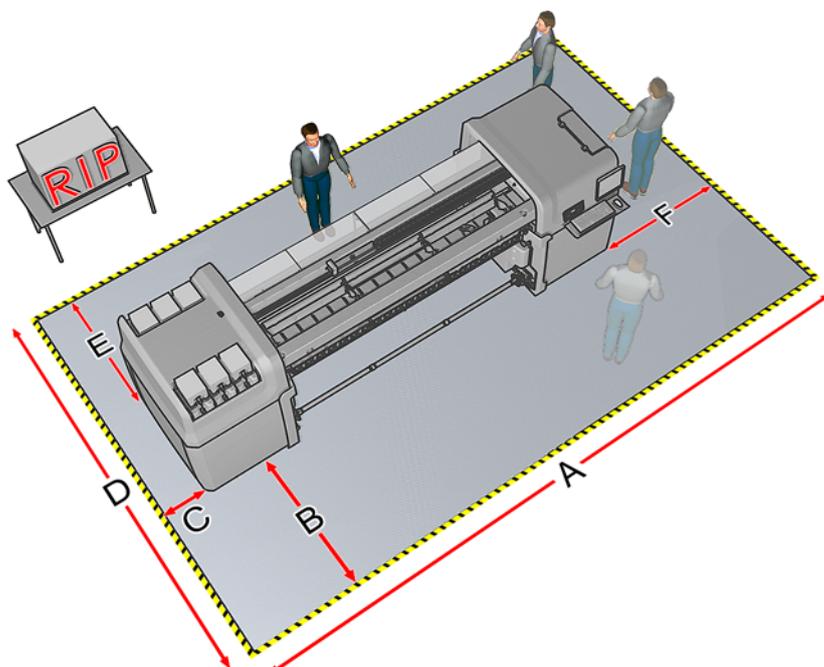
	ドアを閉じた状態 ¹	ドアを開いた状態 ²
幅	5.18m(204.07 インチ)	5.70m(224.53 インチ)
奥行き	1.66m(65.34 インチ)	1.80m(71.18 インチ)
高さ	1.65m(65.08 インチ)	2.03m(80.08 インチ)

表 2-13 LX800 物理的仕様

	ドアを閉じた状態 ¹	ドアを開いた状態 ²
幅	5.74m(226.07 インチ)	6.26m(246.53 インチ)
奥行き	1.66m(65.34 インチ)	1.80m(71.18 インチ)
高さ	1.65m(65.08 インチ)	2.03m(80.08 インチ)

¹ 設置されたすべてのアクセサリ (HP Internal Print Server とキーボード プラットフォームなど) を含む

² フロント ドアとプリントヘッドへのアクセス ドアが開いた状態、プリントヘッドのクリーニング アセンブリを取り出した状態、素材を取り付けた状態



次の表で左列の文字は、上記の部屋のレイアウトに対応します。

長さ	
A	LX600:7m(23 フィート) LX800:8m(26 フィート 3 インチ)
B	1.5m(5 フィート)
C	0.6m(2 フィート) (最小)
D	4m(13 フィート 2 インチ)
E	1.5m(5 フィート)
F	1.5m(5 フィート)

部屋の天井は、床から少なくとも 2.5m(8 フィート 3 インチ)の高さが必要です。

- △ **警告!** 本プリンタの周りのスペースは制限領域とみなし、それに応じて警告する必要があります。トレーニングを受けた担当者のみが、この領域内で操作する必要があります。

素材用の保管場所

本プリンタで使用する素材の保管場所を計画するときは、安全性と簡便性だけではなく、インクや素材が適切な温度や湿度条件で保管されていない場合に、印刷結果に悪影響がおよぶことも考慮する必要があります。

保管場所には素材ロールとインクの適切なストックを保管するために十分なスペースが必要です。重量のある素材を移動し扱うことを最小限に抑えるためにプリンタの運用場所の近くに保管場所を設置することが必要です。

保管場所は、屋根で覆われていることが必要です。また、乾燥して換気のよいことと、直接の光源から保護できることも要求されます。それぞれの用紙タイプで指定された値の範囲内に温度と湿度が維持されていることが重要です。

素材ロール用の保管条件

保管中には素材ロールを包装材料で密封することが必要です。

一部の素材で可塑剤が移動しないようにロール用紙を垂直に保管します。

保管場所から素材をプリンタの運用場所に移動する場合は、必要な湿度や動作温度に到達するように使用の 24 時間前までに移動します。

 **注記：** HP の素材ロールは 12 ヶ月の保証です。ただし最適条件で保管されている場合です。保証条項は素材や製造業者により変わります。

コンピュータとネットワークの要件

LAN とスイッチの要件

リモートからサポートを得るために CallMe@HP を使用するには、次のいずれかが必要です。

- 直接的なオープンなインターネット接続
- ポート 80 または 443 上のオープン トラフィックを許容するネットワーク上のインターネット接続
- プロキシを通じてポート 80 または 443 上でトラフィックを許容するネットワーク上のインターネット接続

HP は次の LAN やスイッチに関連したシステム コンポーネントを用意しています。

HP の LAN/ スイッチ コンポーネント

- 1 ギガビット イーサネット スイッチ (自動検出に設定する必要があります)と電源コード
- HP Internal Print Server
 - CPU と電源コード
 - モニタと電源コード
 - キーボード
 - マウス
 - Windows Vista
 - HP Internal Print Server ソフトウェア
- 2 本の 1 ギガビット イーサネット ケーブル

カスタマーが用意する LAN/ スイッチ コンポーネント

- イーサネット LAN (最小 100Mb/s、最適 1Gb/s)
- RIP ステーションとソフトウェア
- プリンタをネットワークに接続するための十分な長さの CAT-6 LAN ケーブル

 **注記：** プリンタが接続されているハブまたはスイッチのポートを[自動検出]として構成する必要があります。他のプロトコル (半二重など) に設定した場合、通信は行われません。

RIP の要件

本プリンタで使用できる 2 つの RIP が HP から提供されています。

- HP Scitex Onyx RIP (Production House):製品番号 CQ756A
- HP Scitex Caldera RIP (GrandRIP+):製品番号 CQ755A

これらの RIP のソフトウェアおよびハードウェアに関する要件は以下のとおりです。

HP Scitex Onyx 7.3 RIP (最小設定)

- プロセッサ:
 - Intel Core 2 Duo、Pentium IV 3GHz
 - AMD Phenom、Athlon X2、Athlon 64 / Opteron 2GHz (複数の RIP、デュアルコア CPU x 1 またはシングルコア CPU x 2)
- メモリ:CPU ごとに 2GB RAM
- ハード ディスク ドライブ:80GB ドライブ x 2 (SATA 推奨)
- モニタ:1280×1024 ピクセル、16 ビット カラー
- セキュリティ キーのための USB ポート
- DVD-ROM ドライブ
- オペレーティング システム:
 - Windows XP Pro 32 ビットまたは 64 ビット (最新のサービス パックを適用)
 - Windows Vista Business または Enterprise 32 ビットおよび 64 ビット (最新のサービス パックを適用)

HP Scitex Onyx 7.3 RIP (最適な設定)

- プロセッサ:Intel Core i7 3.2 GHz プロセッサ
- メモリ:6GB DDR3 (3 × 2GB) 1066MHz Fully-Buffered ECC RAM
- ハード ディスク ドライブ:74GB、10,000RPM SATA ドライブ x 4

 **注記：** OS およびアプリケーション用に 1 基、一時データ処理 (Bandhome) 用に 1 基、出力デバイス 1 用に 1 基、出力デバイス 2 用に 1 基です。追加出力デバイスについては、さらにドライブを追加します。

- モニタ:1280 × 1024 ピクセル、16 ビットカラー
- セキュリティ キーのための USB ポート
- DVD-ROM ドライブ
- オペレーティング システム:
 - Windows XP Pro 64 ビット (最新のサービス パックを適用)
 - Windows Vista Business または Enterprise 64 ビット (最新のサービス パックを適用)

Onyx 設定についての詳細は、<http://www.onyxgfx.com/index.php?area=viewinfo&action=kbase&id=50170000000OmCAA0> を参照してください。

HP Scitex Caldera 8 RIP (最小設定)

- プロセッサ:シングルまたはデュアルコア 2GHz
- メモリ:最小 1GB、2 ~ 4GB を推奨
- ハード ディスク ドライブ:250GB

- モニタ:1280 × 1024 ピクセル
- オペレーティング システム:Mac OS X 10.4.11、10.5 または 10.6、または Linux オペレーティング システム

Caldera 設定についての詳細は、以下を参照してください。

- http://www.caldera.eu/en/support.php?page=operating_system
- http://www.caldera.eu/docs/Datasheet_GrandRIP+_UK.pdf

外部カラー プロファイリング

本プリンタのカラー プロファイルを構築するには、外部のカラー センサーが必要です。RIP と互換性がある外部カラー センサーを選択していることを確認します。

設置トレーニング中に、カラー プロファイルを作成できる RIP 技術者はカスタマーの責任で選任する必要があります。

3 入荷の準備

荷下ろし場所

荷下ろしに適した、配送用トラックにアクセスしやすい場所を指定する必要があります。本プリンタは大型クレートに梱包されていますので、荷下ろしするのに差し支えない広さのある場所にしてください。荷下ろし場所を検討するときは、次の点に注意してください：

- 荷下ろし場所の入り口の高さと幅
- 荷下ろし場所までの傾斜
- 荷下ろしする棧橋の高さとサイズ (該当する場合)

荷下ろし場所から設置場所までの経路

荷下ろし場所の準備を適切に行うには、荷下ろし場所から設置場所までの経路 (これにはプリンタの運搬時に使用する通路や出入り口も含む) が重要です。プリンタが到着する前に検討しておくことが必要です。プリンタの到着時に、経路に障害物がないようにしてください。プリンタの大型コンポーネントを 1 階に運び込む際には、以下の点に注意してください。

表 3-1 出入り口、天井、通路の仕様

	プリンタ	クレート
出入り口の最小幅	1.85m(72.9 インチ)	2m(78.8 インチ)
天井の最低高さ	2m(78.8 インチ)	2.5m(98.5 インチ)
通路の最小幅	1.85m(72.9 インチ)	2m(78.8 インチ)
90°の方向転換に必要な通路の最小幅 (LX600)	3m(119 インチ)	3.5m(138 インチ)
90°の方向転換に必要な通路の最小幅 (LX800)	3.2m(126 インチ)	3.65m(144 インチ)

△ **警告！** クレートから取り出したプリンタは、傾斜を移動させることはできません。傾斜を移動させる場合は、プリンタをクレートに取り付けたまま移動させてください。

※ **ヒント：** プリンタをクレートから取り出すタイミングを決めます。プリンタの設置場所にできるだけ近い場所で配送用クレートから荷解きすることをお勧めします。通常、プリンタをクレートから取り出すのは、設置場所に移動する直前です。

クレートを分解するには、電源プラグを差し込む電動スクリュードライバーを使用する必要がありますので、クレートの分解場所の近くに電源口があることをご確認ください。

入荷品

プリンタのコンポーネントはすべて 1 個のクレートに梱包されています。クレートとプリンタの寸法と重量は以下のとおりです：

表 3-2 LX600 プリンタおよびクレートの物理的仕様

	長さ	幅	高さ	重量
クレート	5.39m(212.2 インチ)	1.73m(68.11 インチ)	2.16m(85.04 インチ)	1,800kg(3,968 ポンド)
プリンタ	5.1731m(203.66 インチ)	1.6440m(64.72 インチ)	1.6592m(65.32 インチ)	981kg(2163 ポンド) (素材ロールなし)

表 3-3 LX800 プリンタおよびクレートの物理的仕様

	長さ	幅	高さ	重量
クレート	5.86m(230.7 インチ)	1.73m(68.11 インチ)	2.16m(85.04 インチ)	1900kg(4189 ポンド)
プリンタ	5.718m(225.11 インチ)	1.6440m(64.72 インチ)	1.6592m(65.32 インチ)	1100kg(2425 ポンド)

設置に必要な用具と人員

設置には知識を持った人員が 2 名 (通常、設置担当者およびオペレータ) が必要です。

用具を支給する必要が生じないように、入荷前に設置の専門業者に確認してください。

移動装置

1 階での設置

- △ **注意：** プリンタおよびすべてのシステム コンポーネントの荷下ろしおよび移動は、HP ではなく、お客様の責任となります。必要とされる移動装置や引き上げ装置の準備がない場合、設置時の人身事故やプリンタの損傷を招く恐れがあります。

本プリンタの荷下ろし、開梱、設置には、専門の移動装置および引き上げ装置を使用してください。

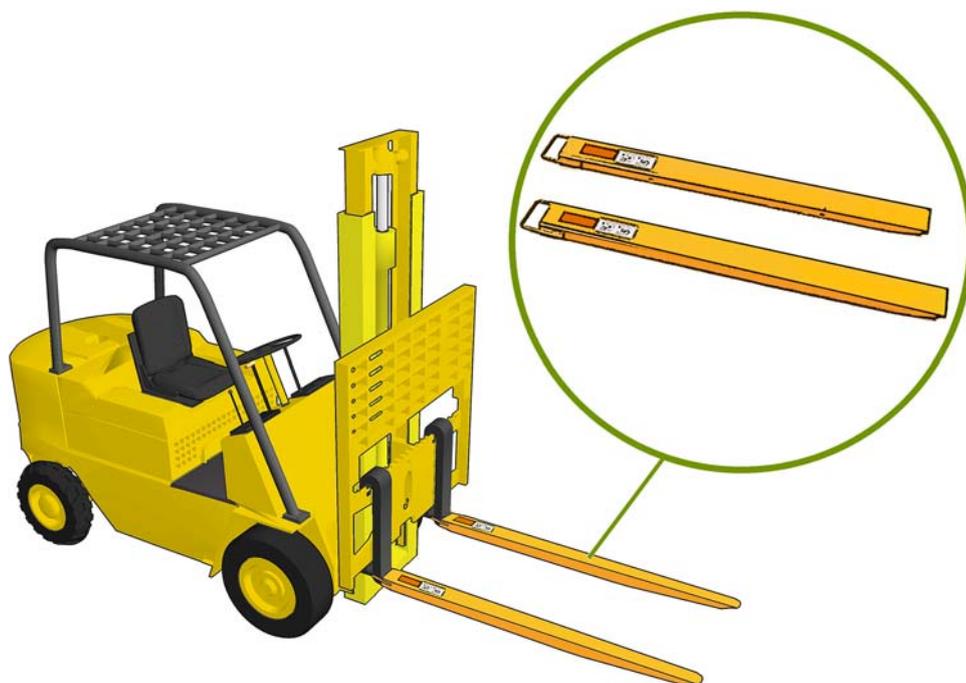
機械類移動の下請け業者または整備業者を先に予約しておいてください。予約した移動専門業者と移動装置がプリンタの入荷時にきちんと手配できるかを確認することが重要です。

次の装置をお勧めします：

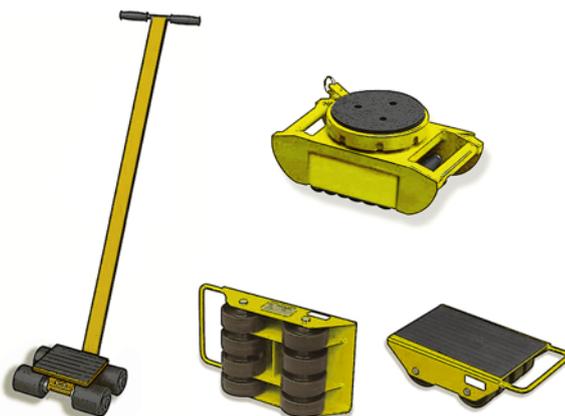
- 幅広の重作業用フォークリフト (必須)

表 3-4 フォークリフトに関する仕様

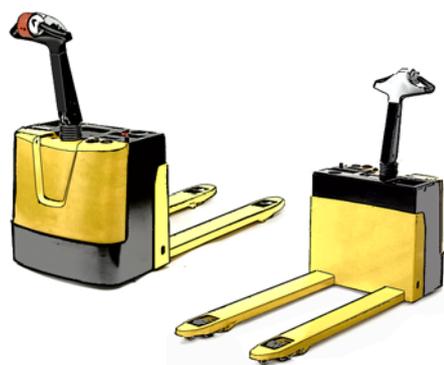
	重量	フォークの長さ	フォーク間の間隔
フォークリフト (LX600 の場合)	2721kg(5999 ポンド)	2m(78.74 インチ)	800mm(31.5 インチ)
フォークリフト (LX800 の場合)	3500kg(7716 ポンド)	2m(78.74 インチ)	800mm(31.5 インチ)



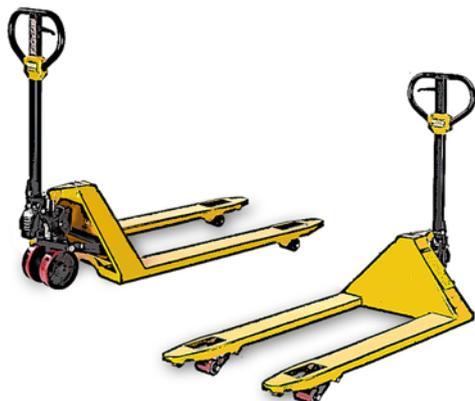
- クレーンを移動させるための 2 つのスケート (オプション)



- 電動パレット ジャック (オプション)



- 手動パレット ジャック (オプション)



2 階以上での設置

- △ **注意：** プリンタおよびすべてのシステム コンポーネントの荷下ろしおよび移動は、HP ではなく、お客様の責任となります。必要とされる移動装置や引き上げ装置の準備がない場合、設置時の人身事故やプリンタの損傷を招く恐れがあります。

2 階以上での設置には、標準的な移動装置に加え、クレーンおよび特殊つり上げ装置が必要となります。設置場所によっては、プリンタをクレートから取り出してからクレーンでつり上げる必要があります。次のセクションで、プリンタをクレーンでつり上げるために必要な装置と構造を説明します。

プリンタのつり上げに必要なクレーン アタッチメント (ヨークなし)

プリンタのつり上げにはフォークリフトでの引き上げと同じガイドを使用します。フォークリフトのガイドにつり上げ棒を差し込み、クレーンにケーブルで接続します。

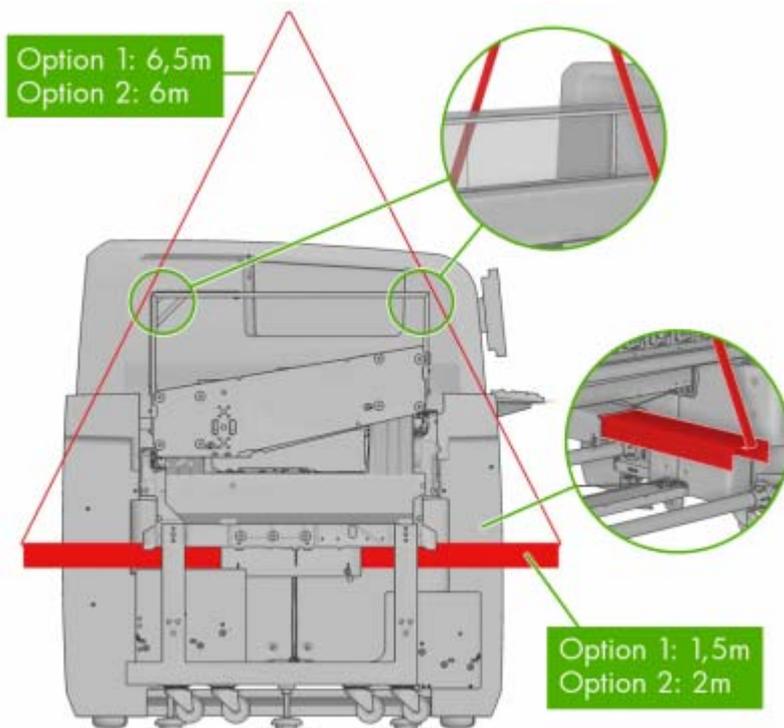
- △ **注意：** プリンタをクレーンでつり上げるときには、走査ビームやその他のプリンタのコンポーネントをケーブルが圧迫しないように、細心の注意が必要です。

注意： この取り付け具は、プリンタをつり上げる前にクレートを開梱する場合に使用します。取り付け具は次の仕様を満たしている必要があります。この仕様を満たしていない場合、プリンタが損傷する恐れがあります。

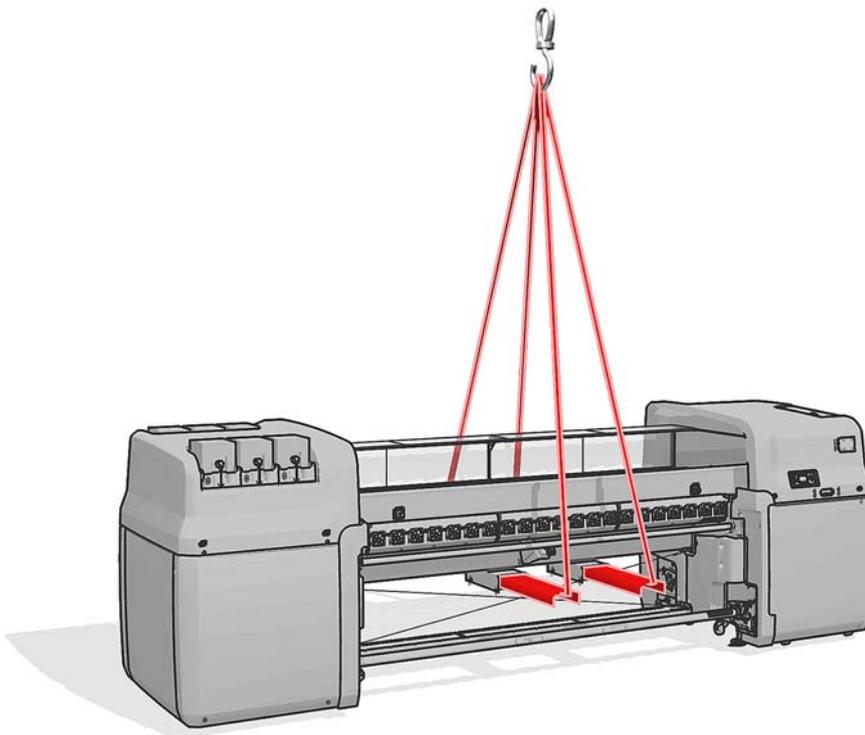
表 3-5 クレーンの仕様 (ヨークなし)

	つり上げ棒 (2 本) の最大幅	つり上げ棒 (2 本) の最大高さ	つり上げ棒 (2 本) の最小長さ	つり上げケーブルの最小長さ
クレーン アタッチメント (オプション 1)	195mm(7.7 インチ)	80mm(3.1 インチ)	1.5m(59.1 インチ)	6.5m(255.9 インチ)
クレーン アタッチメント (オプション 2)	195mm(7.7 インチ)	80mm(3.1 インチ)	2m(78.74 インチ)	6m(236.2 インチ)

次の図はつり上げ棒およびケーブルの寸法を図解しています。



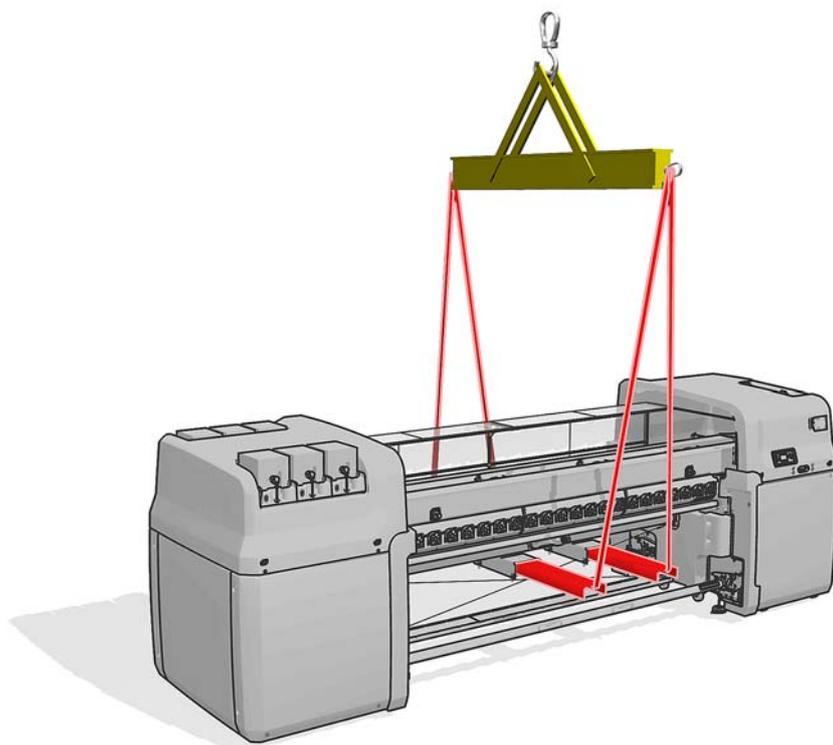
次の図は、プリンタをクレーン（ヨークなし）でつり上げる方法を図解しています。



ヨークを使用した、プリンタのつり上げに必要なクレーン アタッチメント

プリンタをヨークでつり上げる時、つり上げ棒およびヨークは、つり上げケーブルがプリンタに接触しない長さが必要です。次の図は、プリンタをヨークを使用してつり上げる方法を図解しています。

△ **注意：** プリンタをクレーンでつり上げる時には、走査ビームやその他のプリンタのコンポーネントをケーブルが圧迫しないように、細心の注意が必要です。



廃棄物の処理

プリンタを梱包していたクレートおよび梱包素材は廃棄してください。廃棄物の大部分は木材です。